

II-9 東京郊の地盤沈下調査について

稲田 啓穂 日本道路公団 正員。
。山崎 陽三郎 建設省土木研究所 準員

東京郊江東三角地帯は過去60年以來地盤沈下を続けてゐる。その原因は地下水の汲上げによる圧密沈下であると称せられてゐる。我々はボーリング、土質試験、間隙水圧測定等の手段により沈下の原因の探求と沈下機構の説明を行い、沈下量速度と最終沈下量について推算を行った。

調査によつて明かにされた事実、ならびに問題点について述べる。

1. 江東地帯は米3紀の砂レキ層上に粘土が厚く堆積し、地表面附近に砂質の表土が存在する。
2. 米3紀砂レキ層内に含まれてゐる地下水を揚水して使用してゐる。この地下水は近年著しく低下してゐる。
3. 粘土層ならびに砂レキ層が圧密ならびに圧縮沈下をおこしてゐるようである。
4. 粘土層ならびに砂レキ層内の間隙水圧分布は沈下と関係があるように思われる。